

新北医連発第5号  
令和8年5月7日

医療機関の長様  
介護保険事業所管理者様  
関係各位

一般社団法人新発田北蒲原医師会  
しばた地域医療介護連携センター  
センター長 平塚 雅英

### エンドオブライフ・ケア研修会開催のご案内

拝啓 時下、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃から、在宅医療・介護連携推進事業に、ご支援ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、人生の最終段階の人や苦しんでいる人へのかかわり方を学ぶ、尊厳を取り戻し、守り、維持するエンドオブライフ・ケア研修会を開催致します。

講師には、一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会代表理事であり、めぐみ在宅クリニック院長小澤 竹俊 氏をお迎えします。

つきましては、ご多用のこととは存じますが、貴事業所の職員の皆様に、多数ご参加いただきたく、別紙の通りご案内を申し上げます。

なお、参加にはお申込みが必要です。開催要項をご確認の上、お申し込みください。

敬具

#### 【問い合わせ先】

しばた地域医療介護連携センター

〒957-8577 新発田市本町 4-16-83

電話：0254-20-8577 ファックス：0254-20-8570

メールアドレス：zaitaku@pop.shibata.ne.jp

担当：平野、辻

## 開催要項

### 1. 背景

高齢化が進む中、病院で最期まで過ごすことが難しくなり、自宅や介護施設で暮らし続ける人が増えています。しかし、家族は介護負担や仕事との両立、本人は、一人暮らしによる孤立や「やりたいこと」を諦め、自尊心や尊厳が揺らぎやすい状況に置かれています。人生の最終段階にある人は「迷惑をかける」「役割を失う」といった思いから、自分の存在価値を見失う苦しみが誰にでも起こり得ます。

一方で、医療職・介護職はその苦しみに気づきながらも、関わり方に悩む場面が少なくありません。支援する人も人生の最終段階にある人への関わり方に悩みを抱えています。

「生きていてよかった」と感じ、自分の人生に誇りを持てるように支えるためには、尊厳を守る視点と実践が求められます。

### 2. 目的

・だれもが「生きていてよかった」と思える。最後まで自分の人生に誇りが持てる。ための援助に気づく。

### 3. 目標

- ・医療・介護専門職が、本人の“尊厳”を取り戻し、“尊厳”を守ることを現場で意識することができる。
- ・医療・介護専門職が、人生の最終段階の人や苦しんでいる人に自信をもって関わるることができる。

### 4. 対象

新発田市、阿賀野市、胎内市、聖籠町の医療・介護関係者 50人

### 5. 日時

令和8年7月14日(火)午後1時45分～4時30分(受付:午後1時15分～)

### 6. 会場

新発田市健康長寿アクティブ交流センターあおり館 屋内広場 (新発田市中心部3-13-3)

### 7. 講師

一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会 代表理事 めぐみ在宅クリニック院長 小澤 竹俊 医師

### 8. テーマ “尊厳”を守る関わり方

～だれもが「生きていてよかった」と思えるように 最後まで自分の人生に誇りが持てるように～

### 9. 内容

講義&演習(ロールプレイ) 調整中

- (1)エンドオブライフ・ケアの理解
- (2)苦しんでいる人の尊厳を守る
- (3)対人援助の基本

### 10. 参加費 無料

11. 申し込み しばた地域医療介護連携センター 申し込み期間 令和8年5月7日(木)～7月6日(月)  
申し込み専用 Google フォーム又は、申し込み用紙を 0254-20-8570 へファックス送信

12. その他 誠に勝手ながら当日のお問い合わせはお受けできませんのご容赦ください。

主催 しばた地域医療介護連携センター(在宅医療・介護連携推進事業)

後援 新発田地区居宅介護事業者連絡協議会 胎内市介護支援専門員連絡協議会

申し込み用 QR コード



#### 【問い合わせ先】

しばた地域医療介護連携センター

電話 話：0254-20-8577

ファックス：0254-20-8570

メールアドレス：zaitaku@pop.shibata.ne.jp

担当：平野、辻(在宅医療・介護連携推進事業)

【講師のご紹介】

小澤 竹俊 氏 めぐみ在宅クリニック院長

一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会代表理事

1963年東京生まれ。世の中で一番、苦しんでいる人のために働きたいと願い、医師を志し、1987年東京慈恵会医科大学医学部医学科ご卒業。

1991年山形大学大学院医学研究科医学専攻博士課程修了。救命救急センター、農村医療に従事した後、1994年より横浜甞生病院 内科・ホスピス勤務、1996年にはホスピス病棟長となる。

2006年めぐみ在宅クリニックを開院、院長として現在に至る。「自分がホスピスで学んだことを伝えたい」との思いから、2000年より学校を中心に「いのちの授業」を展開。

2013年より、人生の最終段階に対応できる人材育成プロジェクトを開始し、多死時代にむけた人材育成に取り組んでいる。

2017年NHK プロフェッショナル～仕事の流儀～に出演

エンドオブライフ・ケア協会 HP ▣ <https://endoflifecare.or.jp/pages/about-us>